

## 新潟大学(学部入学定員:2,245人)

[取組学部・研究科等: ○医学部医学科(120人),工学部(480人),法学部(180人)]

### 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

新潟大学が考える「グローバル人材」とは、「専門性を持ち自らの考えで行動できる質実剛健かつチャレンジングな精神を持った地球市民」である。21世紀の国際社会・産業界・地域社会を支え発展させリードする、高い専門性と国際基礎力・国際教養を合わせ持った人材を育成する。

### 【構想の概要】

学部毎の明確な達成水準に沿った英語による専門教育と、それを補完する実践英語コースをコアとした特別副専攻「グローバル」を用意し、「Niigata Swing-By」と名付けた留学プログラムにより、短期留学が長期留学につながる体制を整備する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

特別副専攻「グローバル」を新規に開講し、学部における英語での専門講義の充実を図る。学士課程教育の質向上の取組を継続し、新潟大学学士力アセスメントシステム(NBAS)による学士課程教育の実質化と可視化、FD活動及び授業改善の取組を推進する。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

HP及び冊子(日本語・英語)、グローバルフォーラム・セミナー、北京事務所等の海外事務所等を活用し、取組を通して得られた成果の内外への発信を強化する。

### ○ 事務体制のグローバル化

増大する英語、中国語等による業務に対応できるよう、留学や国際業務経験者の層の厚い配置を進める。職員の語学力及び国際理解力を向上させる研修を推進し、5人に1人の職員が英語での業務上のコミュニケーションにある程度対応できる体制を目指す。

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

### ○ 実践英語コースと英語による専門教育

学部での専門教育に加えて、新規に開講する特別副専攻「グローバル」において、卒業時に専門分野を英語で論理的に語る事ができる能力を身に付けられるよう、少人数での実践英語コースと英語による専門教育を行う。特別副専攻「グローバル」では、英語運用能力だけでなく、国際基礎力、国際教養も身に付けることを目的とする。

### ○ 「Niigata Swing-By」による留学促進

短期・長期留学プログラムを「Niigata Swing-By」の名の下に一層の充実を図り、2016年度には対象学部である医・工・法学部の卒業予定者数780人のうち、約15%にあたる120人が海外留学を経験することを目指す。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

すでに学部1年生全員にTOEIC受験を義務付けているが、今後は2年次以降定期的に、また留学前後にTOEIC、TOEFLを受験させることにより、大学での英語教育や留学の学習効果測定に活用する。大学院入試にTOEICのスコアを利用することにより、学習成果を適切に評価する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

特別副専攻「グローバル」の開講、英語授業の少人数化、取組学部の実践専門英語科目の開講義務付け、英語学習支援スペース「SL-SALCミニ」による学生サポート、図書館及び自主学習教材の提供による自主学習環境の整備を行う。本事業は新設の「グローバル教育統括センター」が関連部局と連携して推進する。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

外国人教員比率の向上、国内外における公募制・任期制の活用、外国語による専門講義の開講等を進める。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

FDの開催、協定校との教員交換、英語による講義を開講するための教員英語研修の実施等を進める。

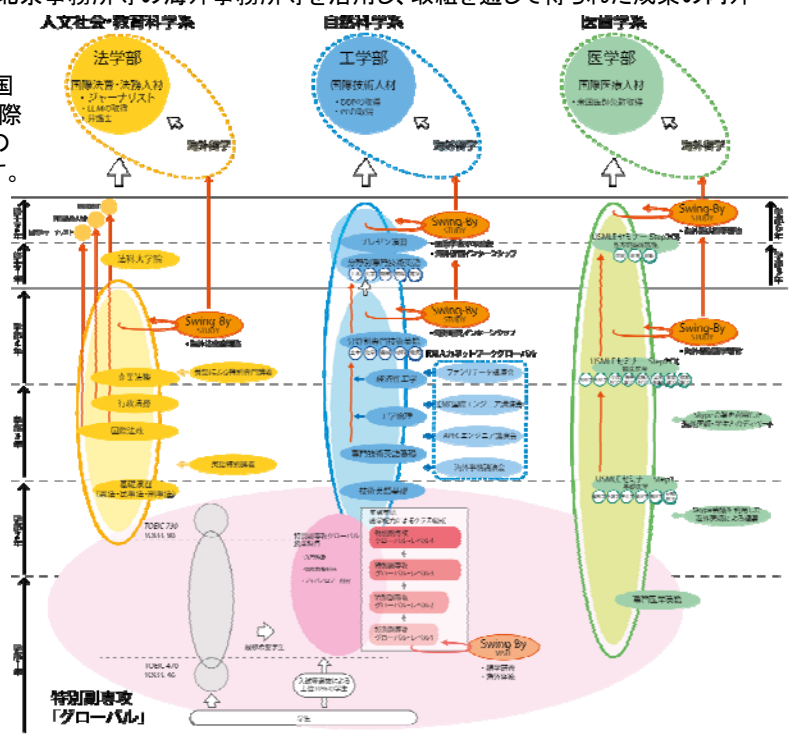
## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

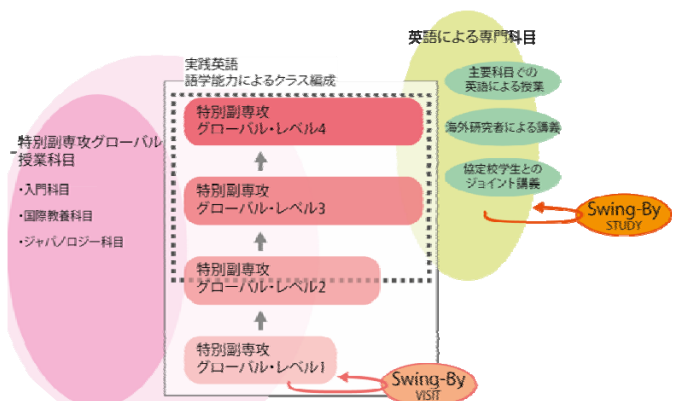
留学プログラムを充実させるとともに、留学の単位化を一層進め、大学独自の奨学金等による留学支援を行う。留学説明会等を通して学生に周知し、早い段階で短期の留学(Swing-By visit)を体験させることにより、在学中の長期の留学(Swing-By study)につながるようにする。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

インターネット環境を利用し、現地での学習状況を把握する。留学前に留学経験者との情報交換の場の提供し、留学後は就職についての情報交換の場を用意する。緊急時における指揮系統体制を整備し、危機管理に関するFD等も開催する。



(新潟大学の取組の全体構想)



(特別副専攻「グローバル」及び「Niigata Swing-By」概念図)

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

本構想では、国際的な専門資格に対応する医・工・法の3学部を対象として、選抜コースを通して3学部の学生が向かうべき資格に対応する資質の獲得を目指す。

英語運用能力については、医学部では米国医師免許(United States Medical Licensing Examination: USMLE)受験のために必要となるレベルやアメリカで臨床研修を受けるのに必要なTOEFLiBT80点以上を、工学部では、DDT(ダブルディグリー)取得やPE(プロフェッショナル エンジニア)を目指すのに必要となるレベルを、法学部では英語でリーガルマインドを備えて話をする事ができ、法曹・ジャーナリストとして必要な能力の獲得を目指す。

3学部共通して、英語運用能力だけでなく、確かな専門性、高度なコミュニケーション力、広い視野と深い教養を有し、高き志とチャレンジ精神にあふれた人材育成を目標とする。

**本構想において実現する達成目標**

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				91人	112人	132人	153人	
うち海外留学未経験者数 (A)				28人	29人	31人	33人	
海外留学経験者数 (B)		24人	45人	63人	83人	101人	120人	
卒業[予定]者数 (C)		782人	780人	780人	780人	780人	780人	
比率 ((A+B)/C)				11.7%	14.4%	16.9%	19.6%	
医学部 医学科	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点以上等		39人(28)	43人(29)	47人(31)	52人(33)	
	海外留学経験者数	4人	9人	11人	14人	16人	19人	
	3カ月未満	0人	5人	7人	9人	11人	13人	
		3カ月～1年	4人	4人	4人	5人	5人	6人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数		88人	120人	120人	120人	120人	120人
工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点以上		33人(0)	46人(0)	59人(0)	72人(0)	
	海外留学経験者数	9人	21人	33人	46人	59人	72人	
	3カ月未満	9人	20人	31人	42人	53人	64人	
		3カ月～1年	0人	1人	2人	4人	6人	8人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数		512人	480人	480人	480人	480人	480人
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730点以上		19人(0)	23人(0)	26人(0)	29人(0)	
	海外留学経験者数	11人	15人	19人	23人	26人	29人	
	3カ月未満	5人	8人	11人	14人	17人	19人	
		3カ月～1年	6人	7人	8人	9人	9人	10人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数		182人	180人	180人	180人	180人	180人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。